

# 子どもから高齢者まで ~社会全体が学びの場~



## スポーツ

運動は「笑顔と元気の源」  
生涯スポーツの推進



津山市に住む皆さんが、スポーツを通じて心と体の健康を向上させていくため、ニュースポーツやトレーニング教室など、さまざまな講座を開催しています。  
子どもから高齢者まで、スポーツをともに楽しむ仲間づくり、そして、幼少期からの運動習慣の定着化を目指して、生涯スポーツの普及を図っています。

## 生涯学習

学校だけじゃない! 地域で学ぶ  
つやま子ども☆未来塾



市内の産業や歴史、企業など、地域に根ざした題材について親子で学び、子どもたちの郷土愛を深めます。  
市内の高校や大学、企業などと連携した講座を開催し、子どもたちの将来への夢づくりや、働くことへの意欲の向上を図ります。  
また、公民館を中心とした地域学習の機会を増やし、地域を支える将来の人材づくりを目指しています。



## 家庭・地域・学校で

## 子どもたちを育むために

今回、策定した「津山市教育振興基本計画第2期」は、津山市の教育全体の計画です。津山市には、保育園(所)、幼稚園、小・中学校、高等学校、高等専門学校、大学など、子どもたちの学びの発達段階に応じた教育機関などが数多くあり、さらに各地域には、社会教育の拠点施設としての公民館やスポーツセンターなどの施設がそろっています。また、豊かな自然と長い歴史に育まれた特徴ある文化や伝統が根付いています。  
今後、この第2期計画に基づき、こうした豊富な教育資源やふるさとの自然、歴史、文化を生かしながら、地域全体で子育てや教育の支援、学校、家庭、地域が連携した取り組みを進め、人や地域の「つなぐ力」を育み、教育の振興に取り組んでいきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



外国語教育の充実  
小中学校へのA.L.T(外国語指導助手)の配置人数を増やし、子どもたちの外国語活動を充実させます。  
また、小学校での教科化に向けて授業研究を進め、教員の指導力と語学力を向上させます。  
小学校中学年から系統的な外国語学習を進め、子どもたちの海外文化への興味や関心を深めて、国際理解の推進を図ります。



学校ICT環境の整備  
平成32年度までに、すべての小中学校に教員が授業で使用する指導用タブレット端末やデジタル教科書などのICT(情報通信技術)機器を導入し、視覚効果の高い、分かりやすい授業づくりを進めます。  
また、子どもたちの学力の定着に向け、授業や補充学習で活用するための学習プリント作成ソフトを平成29年度にすべての小中学校に導入します。



## 第2期計画が目指す“子どもたちへの教育”

津山市教育振興基本計画第2期が掲げる主な取り組みを紹介します

## リズジャンプの推進

毎年実施される全国体力・運動能力調査によると、津山市の児童・生徒の体力や運動能力は、多くの項目で全国平均を上回っています。  
音楽に合わせて楽しく跳躍運動を行う「リズムジャンプ」を推進することで、子どもたちの運動能力をさらに高め、運動することの喜びや楽しさ、意欲を増進していきます。



## 特別支援教育推進センターの機能の充実

障害の有無にかかわらず、子どもたちがともに学ぶことができるよう、一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導を充実させ、関係機関と連携した教育を推進していきます。  
津山市の特別支援教育の中核施設として、北小学校に併設している「津山市特別支援教育推進センター」の機能を強化し、未就学児など、早期からの支援体制づくりを進めます。

